仏教保育

11 NOVEMBER

伝えよう　生命の尊さ　ほとけの心

新制度が描く「子ども・子育て関連3法」とは

～地方自治体向けの説明会を受けて～

公益社団法人 日本仏教保育協会 理事長　関岡 俊二

「子ども・子育て関連3法案」が成立し、25年度中には需要調査が行われ、平成27年4月から動き出す見通しとなったことは周知の通りです。法律の施行は、消費税10％実施予定の同年10月からとなっています。その消費税から投入される子ども・子育て関連財源は7000億円が見込まれていることも公表されています。そして9月28日、内閣府・文部科学省・厚生労働省の3府省が、実施主体となる地方自治体向けに子ども・子育て3法に関する説明会を行いました。それを受けた地方自治体では、行政や事業者の周知徹底を図るため、東京都をはじめ、神奈川県、千葉県などは、子ども・子育て関連3法や認定こども園の認可に関する留意点などについて、説明会を実施し始めましたが、新制度自体がよく分からないとの声も多く、施設型給付等における単価水準などについても疑問が相次いで寄せられています。

そこで、新制度のポイント、これからのスケジュールなど、事業者として関心事のある事項について改めて確認してみたいと思います。

■制度設計の基本

実施主体は市町村。市町村が当該地域のニーズに基づいて子ども・子育て支援事業計画を策定し、給付・事業を進めることになっています。保育の必要性の認定等の基準については地方自治体、有識者、事業主代表、労働者代表、当事者などが参画します。

基本的なメニューは、給付および事業で、子ども・子育て支援給付は、認定こども園、幼稚園、保育所を通じ、共通の給付である施設型給付、家庭的保育などの地域型の給付と児童手当などの現金給付があります。また、これまでバラバラであった子ども・子育ての支援施策が市町村の給付・事業を通して、一体的に展開していくことになります。

■利用の仕組み

利用者は先ず、保育の必要性の認定を受けて保育を利用できる権利を得ます。必要な保育時間の認定は月単位となっています。

施設型給付は個人給付だけとなっていますが、私立保育所については当分の間、委託費となります。市町村には保育実施義務がありますので、市町村と利用者が契約し、市町村が委託費を支払うことになるからです。保育料も市町村が徴収します。

■給付内容

施設型給付は、満3歳以上の幼児に対する「標準的な教育時間」と「保護者の就労時間」に応じた保育に対応する給付と、満3歳未満児の保護者の就労時間に応じた保育に対応する給付で構成されています。保護者の就労時間に応じた保育については、長時間と短時間の単価を設定します。保育所では、保育者の勤務年数に応じて運営費を加算する民間施設等給付改善費で処遇改善が行われていますが、給付設計全体を検討する時点で職員の待遇改善を考慮することになっています。

施設型給付の幼稚園は、標準的な教育時間に対応する給付に限り適用されます。保育の必要性の認定を受けた子どもを受け入れる場合には、幼稚園型認定こども園にならなければなりません。保育の必要性の認定を受けない子どもに対する一時的な保育については、市町村事業の一時預かり事業で対処することになっています。

■これからのスケジュール

消費税8％引き上げは平成26年4月、10％実施は平成27年10月が予定されています。従って、子ども・子育て支援の新制度の実施が予定されるのは平成27年の10月以降、場合によっては翌28年4月からということも考えられます。子ども・子育て会議が設置されるのは平成25年4月と思われます。その会議において、子ども・子育ての意義や市町村の事業計画策定等の指針をはじめ、新たな幼保連携型認定こども園の設置基準なども検討・決定されることになるでしょう。

（＊子ども・子育て関連3法の今後の動き、幼稚園教諭免許と保育士資格の一元化等については、機会を改めて探ってみたいと思います。）

訃報

公益社団法人 日本仏教保育協会
上村映雄 理事長
（ほぜんじ幼稚園）急 逝!!

当協会理事長　上村映雄先生が、平成24年10月11日、遷化されました。世寿83歳でした。

上村映雄先生は、昭和4年（1929）2月22日、東京都中野区・保善寺にて生を受けました。昭和4年は日本仏教保育協会が発足した年でもあります。昭和26年（1951）駒澤大学文学部仏教学科を卒業し、中野区立江古田小学校に教諭として奉職。同区内の桃園第三小学校、桃が丘小学校を歴任の後、昭和37年（1962）4月に私立ほぜんじ幼稚園の主事となり、幼児教育者としてのスタートを切りました。

一方、聖徳学園短期大学幼稚園教員養成所（現・聖徳大学幼児教育専門学校）講師、鶴見大学女子短期大学部保育科（現・鶴見大学短期大学部保育科）教授等を歴任し幼稚園教員の育成に力を注ぐとともに、文部省の幼稚園教育指導書の編集に携わるなど、幼稚園教育一筋に歩んでこられました。

平成4年（1992）、曹洞宗保育連合会副理事長、平成9年（1997）に同連合会理事長に就任、現在に至るまで曹洞宗保育の振興に尽くされました。

また、地元中野区では平成5年（1993）から同24年（2012）3月までの19年間の長きにわたり、私立幼稚園連合会会長を務め、その振興に貢献されました。日本仏教保育協会においては、社団化以前より協会の運営に携わり、昭和44年（1969）の社団化後は、評議員や常任理事を歴任され、インド菩提樹学園創設にも力を入れ、インドの貧しい子どもたちの教育にも情熱を注ぎました。平成5年5月には社団法人日本仏教保育協会理事長に就任、遷化当日までその振興に力を尽くし続けてこられました。

また、平成20年（2008）に「新公益法人制度」が施行されると、直ちに公益社団法人化に向けた「将来検討委員会」を設置し、平成24年4月1日を期して公益社団法人化を実現。先生の功績は内外に高く評価されています。

平成18年（2006）には東京都教育功労賞を受賞されました。仏教を理念とした幼児教育に生涯を貫いた巨星・上村映雄先生の急逝は惜しまれてなお大きく余りあるものがあります。

先生のご功績を称えるとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

【主な著書】

＊上村先生の著書の一部と近著をご紹介します。

『幼稚園学級経営の実際』（すずき出版）
『仏教保育内容総論』（チャイルド本社）
『幼稚園幼児指導要録記入の実際』（チャイルド本社）
『絵本・母と子の仏教童話』5巻（国書刊行会）
『保育に活かす「ことばの指導」』（ひかりのくに）
『幼児のしつけ99章』（すずき出版）
『みんなの仏教　わかるかな？』（宣協社）

＊このほか、幼児教育行政・学級経営等をはじめ、仏教保育の指導書等多数。

公益社団法人 日本仏教保育協会

故 上村映雄 理事長 本通夜 本葬儀 ご案内

当協会理事長　上村映雄が　平成24年10月11日　遷化いたしました。

ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます

なお　通夜並びに密葬の儀は近親者にて相済ませました

つきましては本通夜　本葬儀は左記の通り執り行います

記

一、本通夜　平成24年11月24日（土曜日）　午後5時～
一、本葬儀　平成24年11月25日（日曜日）　午後1時～
一、場　所　自坊　保善寺
（東京都中野区上高田1－31－2）

※駐車スペースがございませんので、お車はご遠慮ください

喪　主　上村勇雄

公益社団法人日本仏教保育協会理事長に関岡俊二（せきおかしゅんじ）先生 就任

上村映雄理事長ご逝去を受けて、10月25日に全日本仏教会会議室において理事会を開催、理事長並びに副理事長の選任について審議を行いました。

理事29名中17名の理事が出席、更に堀山監事、高山事務局長が加わり「新理事長選任」と「副理事長選任」の審議が行われました。

審議の結果、新理事長に関岡俊二理事が就任することを満場一致で承認し、同理事もその任に就くことを承諾しました。

副理事長選任についても同様に審議され、縁谷一雄理事、日野昭文理事、三浦俊彦理事、栗原信明理事の4名の就任を満場一致で承認しました。

■関岡俊二理事長のプロフィール

昭和17年（1942）3月17日生まれ、70歳。現職、学校法人高西寺学園多摩みゆき幼稚園（東京都多摩市）理事長・園長。曹洞宗龍澤寺および高西寺住職。

法政大学経済学部卒。玉川大学通信課程において幼稚園教諭二種免許を取得。保護司、多摩青少年委員、多摩市私立幼稚園協会会長を歴任。曹洞宗東京都保育協会会長、曹洞宗保育連合会監事、麻布仏教会会長、公益社団法人日本仏教保育協会副理事長等を歴任。

「平成24年度東日本大震災義援金について」

昨年度に引き続き、東日本大震災の義援金の募集を開始したところ、たくさんの方からご協力いただきました。厚くお礼申しあげます。

義援金合計金額　1，819，943円（10月15日現在）

お預かりいたしました義援金については、24年度内に配布させていただく予定にしております。なお、義援金は引き続き募集いたしますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【義援金受付口座】

《郵便振替》

●口座番号　00150-6-715965

●加入者名　公益社団法人 日本仏教保育協会義援金本部

＊振り込み手数料は当協会で負担いたします。専用の用紙をお送りいたしますのでご連絡ください。

＊この口座は「義援金専用」です。義援金以外の送金はご遠慮ください。

＊当協会より既に送付している振替用紙（暑中見舞・生命尊重など）は義援金の専用ではありませんので、ご利用なさいませんようお願い申し上げます。

《銀　行》

三井住友銀行浜松町支店

●口座番号　（普）3093840

●口　座　名　公益社団法人 日本仏教保育協会

ご案内

第3回理事会 第2回運営審議委員会

日時　平成25年1月17日（木）15時～16時30分

会場　増上寺光摂殿講堂

関西地区連絡協議会

日時　平成25年2月5日（火）
・報告会　15時～16時30分
・懇親会　17時～

会場　ホテルグランヴィア京都

養成機関連絡協議会

日時　平成25年2月22日（金）
・協議会　16時～17時30分
・懇親会　18時～

会場　芝パークホテル本館2階「桜」

【お詫びと訂正】本紙『仏教保育9月号』（No.581の3ページ）に記載した「第33回全国仏教保育京都大会」の開催日程に誤りがありました。正しくは平成26年7月26日（木）・27日（金）です。茲に謹んでお詫びし訂正いたします。

平成25年度 幼児教育関係概算要求の概要

文部科学省は9月下旬、平成25年度予算の概算要求の概要を公表しました。幼児教育関係概算要求額はおよそ12%(25億8100万円)増の242億200万円を要求しました。私立幼稚園に係る補助単価を引き上げるとともに、第3子以降の無償化など保護者の負担軽減補助対象を拡大し、保護者の所得状況に応じた経済負担の軽減を図っています。また、「子ども・子育て関連3法」の施行の円滑さに向けた「調査研究事業」も新たに盛り込んでいます。なお、認定こども園の施設整備等のための「安心こども基金」については、期限の延長等を別途に検討されることになっています。主な要求の内容は下表の通りです。

区分	24年度当初予算額	25年度概算要求額	比較増△減	備考
幼児教育課関係予算総額	21,621	24,202	2,581	
1.幼稚園就園奨励費補助	21,550	24,139	2,589	
2.幼稚園教育内容・方法の改善充実	21	20	△1	・幼稚園教育理解推進事業　20百万円
3.質の高い幼児教育・保育の総合的提供等推進事業（新規）	0	43	43	・幼児教育の改善・充実調査研究　33百万円 ・子ども・子育て関連3法に基づく新制度の実施に係る調査研究等　11百万円
4.（前年度限りの経費）幼児期からの「人間力」向上総合推進事業	50	0	△50	
【参考】				
1.私立幼稚園施設整備費補助	2,317	4,098	1,781	※公立幼稚園施設整備費については、241,103百万円の内数
2.私立高等学校等経常費助成費補助（幼稚園分）	32,274	33,523	1,249	
（ア）一般補助	24,437	24,471	34	
（イ）特別補助	7,837	9,052	1,215	1.子育て支援推進経費　4,672百万円→5,132百万円 ・預かり保育推進事業　3,522百万円→3,910百万円 ・幼稚園の子育て支援活動の推進　1,150百万円→1,222百万円 2.幼稚園特別支援教育経費　3,165百万円→3,920百万円
3.緊急スクールカウンセラー等派遣事業	4,702の内数	4,010の内数	—	

(1) 補助単価の引き上げ
（階層区分）

【公立】　（H24）　（H25要求）　（対前年度比）
・生活保護世帯、市町村民税非課税世帯、市町村民税所得割非課税世帯（年収約270万円以下）　20,000円 → 20,000円　（前年度同額）

【私立】
Ⅰ　生活保護世帯　226,200円 → 229,200円　(3,000円増)
Ⅱ　市町村民税非課税世帯（市町村民税所得割非課税世帯含む）（年収約270万円以下）　196,200円 → 199,200円　(3,000円増)
Ⅲ　市町村民税所得割課税額（77,100円以下）世帯（年収約360万円以下）　112,200円 →115,200円　(3,000円増)
Ⅳ　市町村民税所得割課税額（211,200円以下）世帯（年収約680万円以下）　49,800円 → 56,000円　(6,200円増)

※ 金額は、第1子の補助単価（年額）を掲げている。
※ 市町村民税所得割課税額（補助基準額）及び年収は、夫婦（妻が専業主婦）と子ども2人の世帯の場合の金額であり、子どもの人数等に応じて補助基準額及び年収が変動する「簡便な調整方式」により国庫補助を実施予定である。なお、年収はおおまかな目安である。
※ 幼稚園の保育料等の全国平均（平成23年度）は年額で公立79,000円、私立308,000円である。

(2) 多子世帯の負担軽減の拡充
小学校3年生以下の兄姉のいる世帯の第3子以降の園児について、保育所保育料と同様に所得制限を廃止し、補助対象を拡大するとともに、引き続き第2子の負担軽減を図る。
○ 幼稚園等に通う兄・姉がいる場合
第2子　0.5　（継続：上記階層区分に該当する場合）
第3子以降　0.0　（補助対象の拡大：所得制限を廃止）
○ 小学校1～3年生の兄・姉がいる場合
第2子　0.75　（継続：上記階層区分に該当する場合）
第3子以降　0.0　（補助対象の拡大：所得制限を廃止）
※ 数値は、第1子の保護者負担割合を［1.0］とした場合の第2子以降の保護者負担の割合

※認定こども園の施設整備などを行う「安心こども基金」については、期限延長等について検討　（単位：百万円）

平成25年度 保育対策関係概算要求の概要

厚生労働省は9月下旬、平成25年度予算の保育対策関係概算要求の概要を公表しました。省全体では、24年度より2・9%増の30兆266億円を要求しています。このうち保育対策予算は、7・1%(307億4100万円)増の4611億5100万円となっています。子ども・子育ての政策実現のため、24年度の5万人を超すおよそ7万人の保育所受け入れを目指したものです。保育所整備、認定こども園への補助については「安心こども基金」で対応することにし、期限の延長を検討するとしています。また、保育所が実施している地域子育て支援拠点事業や一時預かり事業については保育対策予算とは別に、子育て支援交付金を使って推進。重点要求事項として前年度より12・1%(37億円)増の344億円を要求しています。

1）待機児童解消のための受け入れ児童数の拡大

●民間保育所運営費　4256億2500万円

前年度より7.4%（294億円）増を要求。前年度より２万人多い７万人の受け入れ拡大に対応できるように、運営費を拡大。これは平成24年に公表された人口推計に基づいて、子ども・子育てビジョンの保育所利用の増加分を反映させたものです。

●待機児童解消促進事業　30億6800万円

待機児童解消の多様な保育事業の促進として13.6%（３億6800万円）増で要求。家庭的保育事業を現状の１万人から1.3万人に拡充。新たに家庭的保育事業を開設しやすいように設備整備など、準備経費も盛り込んでいます。

●保育環境改善等事業　１億3700万円

保育の促進のための施設（軽微な）の改善等を推進するための補助です。

2）多様な保育の提供等

●延長保育推進事業　225億600万円

残業や通勤距離の遠距離化など、保育者のニーズに応じて開所時間を超えて実施する延長保育を推進するためのものです。

58.0万人→60.2万人

●家庭的保育事業（保育ママ）　29億1300万円

●病児・病後児保育事業　48億4200万円

地域の児童を対象に当該児童が急病になったとき、病院や保育所等に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育する事業、あるいは保育中に体調不良となった児童を保育中に医務室等において看護師等が緊急的な対応を行う事業等を推進するためのものです。

病児・病後児保育対応型
　延べ143.7万人　→　延べ171.8万人
体調不良児対応型　870か所　→　898か所

●休日・夜間保育事業　８億800万円

保護者の勤務形態が多様化している中で、休日や夜間においても保育を実施するため、認可保育所のほか、一定の設備基準や職員配置基準を満たす施設を補助対象にし、休日や夜間の保育事業を推進するためのものです。

休日保育事業　10万人　→　11万人
夜間保育推進事業　224か所　→　252か所

●その他の保育の推進　41億6500万円

事業所内保育施設の研修等による職員の資質向上などを図るためのものです。

＊上記予算とは別に、地域子育て支援拠点事業や一時預かり事業等については、子育て支援交付金(344億円）で「子ども・子育てビジョン」の実現などに向けて推進する。

＊子育て支援交付金については、すべての子ども・子育て家庭に地域支援機能の強化を図るため、次のような取り組みを推進するとして、84億円を重点要求しています。

・地域子育て支援拠点事業については「地域機能強化型」を創設し、①子ども・子育て家庭が多様な事業や制度の中から適切な選択を行うことができるように情報の集約・提供などの利用者支援を実施すると共に②世代間交流や、地域ボランティアとの協働など地域との支援・協力関係を構築。

・一時預かり事業について「基幹型施設」を創設し、①休日などの開所や②通常の開所の開所時間を超えた時間延長を実施。

・保育所体験特別事業については、平成24年６月に実施した厚生労働省行政事業レビューの公開プロセスの結果を踏まえ、廃止する。

各宗派［夏期保育研修会・講習会］大会報告。

【真言宗豊山派】「第57回教職員研修大会」報告

事務局長（東京）
水野　義昭

真言宗豊山派保育連合会第57回教職員研修大会は、平成24年8月24日（金）、東京真言宗豊山派宗務所を会場に行われた。参加者100名。

開会式は、副会長 亀井宗淳先生の開式の言葉の後、「豊山保育の歌」をバックに、御導師・ご来賓が入堂。代表の先生方により献灯・献香・献華。ご法楽へと進む。安藤文隆会長のご挨拶、永年勤続者の表彰の後、御導師をお勤めいただいた真言宗豊山派宗務総長 坂井智宏台下よりお言葉をいただき、続いてご来賓にご挨拶をいただく。まず、真言宗豊山派総務部長 増澤秀丸先生、日本仏教保育協会事務局長 高山久照先生、そして、7月に50回記念の研修大会を終えたばかりの智山保育連合会副会長 中村信成先生のご挨拶をいただいた。理事長 大沢聖隆先生の閉式の言葉の後、第1講へ。

第1講は、仏教講話。「私、仏教に惚れました」と題して、落語家で天台宗の僧侶、露の団姫（つゆのまるこ）先生。中学生の頃より仏教と「究極の一人芝居」の落語に強く魅かれ、僧侶であった露の五郎兵衛に入門。噺家となり、平成23年天台宗にて出家、24年4月より6月に比叡山で修行。噺家と僧侶という両面を持ち、独自の仏教落語を披露。笑いながら仏教に触れられる楽しいコラボレーションであった。

第1講終了後、記念撮影。第2講は、食事作法。「食の大切さを知る」と題して、世尊院幼稚園副園長 大澤聖智先生の講話。終了後、昼食となる。

昼食後、第3講。「こころ はれば れ パート2」と題してご存知、新沢としひこ先生の実技講習。鬼怒川での日本仏教保育協会での記念講演の熱気をそのまま東京に持ってきていただいて、熱く楽しく、そしていつまでも歌っていたい歌をたっぷりと歌って踊っての2時間であった。

新沢先生の研修の余韻が残る中、閉会式。安藤会長の挨拶の後、会長より参加者代表に修了証が授与され、そのまま代表の挨拶。「研修で得たものを持ち帰って、保育に役立てたい」と述べた。

次年度は、総本山長谷寺での宿泊研修との予告があり、1日ではあったが、中身の濃い研修会であったと思う。

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

【浄土宗】「第38回全国研修会」報告

浄土宗保育協会事務局長
月かげ保育園（京都）
園長　浦田　裕人

浄土宗保育協会第38回全国研修会が、東海地区の担当により「明るく　豊かに　健やかに」をテーマに、静岡市の静岡グランドホテル中島屋において平成24年8月18日、19日の二日間開催され、全国各地から186名の参加がありました。

開会式では、浄土宗保育協会白旗文雄理事長から「昨年は宗祖法然上人800年大遠忌の年に当たり、全国各地において子どもたちを交えながら盛大に宗祖の御恩を偲ぶことができました。この勝縁を契機として、宗祖法然上人のみ心に適う保育について、親しく語りあいたいとの思いでこの研修会を開催します」との開会挨拶がありました。また、永年勤続職員表彰（対象70名）が行われ、参加の26名に賞状並びに記念品が手渡されました。

研修①は、『おまえうまそうだな』などの作者で絵本作家 宮西達也先生の「明るく　豊かに　健やかに～絵本を通して～」。スクリーンでの自作の絵本の読み聞かせなどを交え「読み聞かせは、読み手と聞き手がその場の空気を楽しむもの」などと楽しくお話していただきました。

研修②は、平山ラーメン先生・たかはしあきら先生の「あそびうたセミナー」。ラーメン体操やパネル遊びふれあい遊びの実演を通して「見せる本人が楽しくないと見ている側は楽しくない」と、とにかく心も体も温まりました。

研修会二日目は、朝のおつとめの後、研修③古宇田亮順先生の「パネルシアター実演研修」がありました。パネルシアターは、お話や歌だけでなくクイズや手品など色々な広がりがあり、動かし方や出すタイミングなどをお話いただきました。

京都からの参加者は「すべての研修が、実演を通してのもので、受講した私たちも子ども心に帰ることができ、日々子どもたちがどんな感情や驚き、楽しさを味わっているかを改めて知ることができました。どの先生もおっしゃっていた『演じる側が楽しまなければ相手に伝わらない』との言葉が心に残っています」と感想を述べていました。

日本仏教保育協会編集による出席カードです。
仏教行事を楽しい絵柄で構成しています。

はなまつり、成道会、涅槃会などの仏教行事を、かわいいイラストでファンタジックに表現しています。

出席カード（仏教版）2012年度版
税込390円（本体価格372円）
出席シール（仏教版）2012年度版
税込280円（本体価格267円）

〒113-8611 東京都文京区本駒込6-14-9 電話03-5395-6608 http://www.froebel-kan.co.jp フレーベル館

「ちょっと気になる出来事」

新聞のコラムに寄せられた最近の記事に、ちょっと気になることが二つ三つあった。

一つは、日本人の「果物離れ」である。以前から、日本人が食べる果物の量は欧米と比べて少ないとは言われていたが、先進国の中で最低の水準だそうな。特に、若い人の「果物離れ」は顕著だという。理由は「嫌いではないが、皮をむくのが面倒だから」なのだそうである。ミカンの皮むきも面倒らしい。皮ごと食べられる「種なしブドウ」などは人気が高い。他にもある。「魚離れ」「米離れ」「野菜離れ」と続く…。便利さ・手軽さに慣れた若者世代の嗜好が日本の食文化から離れつつあるように思えて、ちょっと寂しくなった。

二つは、「トリック・オア・トリート」。そう、「お菓子を頂戴！くれなければ悪戯するぞ！」とキャンディなどをねだって歩く、あのハロウィーンのことである。もとを正せば、秋の収穫を祝い、悪魔を追い払う古代ケルト人の祭りが起源である。アメリカでは、大きなカボチャを買ってきて、親子でお化けカボチャを作って楽しむ「コミュニティーのお祭り」の色合いが濃い。日本では10月に入ると、商店街はカボチャを飾り立て、マスコミもクリスマス同様のお祭り気分で囃し立てる。いつの間にこんなに浸透してきたのだろう？　悪いというのではないが、日本にも「豆まき」「花まつり」「七夕祭り」など、古来より家族で楽しめる四季折々の行事はたくさんあるのに…。そんな感慨を抱いたものである。

三つは、学力調査の結果である。算数の「数式が何を意味するのか分からない」。国語では、「筋道を立てて書けない」子どもが多いことが浮き彫りになったという。新しい学習指導要領は「言語活動」の比重が高い。その中心は国語である。学力調査は小6と中3を対象にしたものだが、接続後を使っての文章では、正答率が15%だったという。論理的に書くことがどうも苦手のようである。「国語力」はすべての基本であるだけに、とても気になって仕方がなかった。

編集後記

■編集後記の依頼を受け、それと時を同じくして大変悲しい知らせが届きました。「上村映雄先生ご逝去」の報。何を書こうとしても、在りし日の先生のお姿ばかりが思い浮かばれてきます■私事ですが、日仏保だけでなく、中野区の私幼連でもご一緒させていただいて二十余年、たくさんのご指導と思い出をいただきました。それらをこの短い数行に書き記すことはできません。唯々、ご冥福をお祈り申し上げます■これからも仏教保育に携わる者の一人として先生の教え守り、そのご遺志をほんの少しでも継承していけるよう努力してまいりたいと思います。上村先生、永年にわたり、ありがとうございました。

（根　本）

事務局日誌

10／4　「仏カリ」「仏教保育」編集会議
　　事務局会議
10／25　「第2回理事会」全日本仏教会会議室

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4－7－4
ホームページ　http://www.buppo.com/
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 関岡俊二　編集人 高山久照
毎月1回1日発行（1部315円）

仏教保育綱領

慈心不殺　生命尊重の保育を行なおう
仏道成就　正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進　よき社会人をつくる保育を行なおう

ポップアップ絵本 おしゃかさま
¥21,000（税抜¥20,000）
サイズ：W31×D5×H43cm
重量約2kg
化粧箱（W33×D5.5×H45.5cm）入り
10ページ（見開き5画面）
（社）日本仏教保育協会／監修
諸橋精光／作
さくらいひろし／PAPER ENGINEERING
脚本ガイド付き

★お誕生からお涅槃までのお釈迦さまのご生涯をつづった大型の立体絵本です。ポップアップならではの精密かつダイナミックな仕掛けをふんだんに盛り込みました。布教活動や仏教保育の現場でご活用いただけます。

誰でも一度は読んでおきたい…
名作児童文学紙芝居
走れメロス　20場面 ¥3,675
泣いた赤おに　16場面 ¥2,940
手ぶくろを買いに　16場面 ¥2,940
（価格は税込）

すずき出版　鈴木出版株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-4-21
電話 〇三-三九四五-六六一二
ファクス 〇三-三九四五-六六一六
●http://www.suzuki-syuppan.co.jp/